



※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。（200文字以内かつ9行以内）
	土地区画整理事業・市街地再開発事業	綱島駅東口周辺地区（港北区）	R1～継続中	綱島東口駅周辺地区では再開発・区画整理事業が進行中。ここで将来の公共空間の利活用を想定した空間デザインを検討するとともに、一定のルールによる街並みの誘導施策や、将来の街づくりの担い手となるエリアマネジメント体制の構築について、地権者及び事業者、商店会・町内会などの地元組織との対話を重ねながら検討を進めている。
	その他地域のまちづくりに関する計画	関内まちづくり振興会（中区）	R2～継続中	JR 関内駅前の旧市庁舎街区及び民間街区では大規模な開発事業が計画されており、隣接する関内地区では周辺開発との連携強化、多種多様な人々が集い交流するまちの将来像とまちづくりの方向性の検討を進めている。令和7年7月、セントラル関内まちづくりビジョン（素案）を策定。イベントを主体的に実施する地元有志・住民、街づくりの専門家、学識経験者、開発事業者等による検討を現在も継続している。
	まち普請事業	Co-coya（緑区）	R3 (R4整備)	コワーキングオフィス・アトリエ、カフェ、ギャラリーなどが点在するエリア「753village」。その一角にある築60年の民家を多世代交流スペースにリノベーションする提案。これまでの活動を発展し、地域外にも開かれた施設とするため、活動主体メンバーと共に、地元町内会をはじめとする地域団体や多種多様なクリエイターと交流を深めながら、内装デザインや設備の必要性について検討を行った。
	まち普請事業	二つ台みーとみーと（保土ケ谷区）	R6 (R7整備)	横浜国立大学西門前、長年地元で愛されていた精肉店が閉店したことで、卒業生・現役学生らがグループを結成し、建物を活用した学習塾＋シェアキッチンがあるコミュニティスペースを提案。住民アンケート調査や実証イベントを重ねながら地域ニーズを把握するとともに、学生の主体的参加、活動の持続性を担保することに重点を置き、大学の授業やサークル活動に位置付けることに成功、メンバーを飛躍的に拡大することが出来た。

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

- 1996年以来、横浜市内の数多くの地域まちづくりの現場に関わっています。横浜市の都市景観上重要な地域地区のランドスケープデザインを手がける一方、地域のニーズと特性を捉え、それにふさわしい都市環境のあり方について幅広い提案を行っています。
- 地域住民、町内会、商店街、市民活動団体、地域への想いを持った個人等による活動や、地域主体による事業の企画立案から実践に到るまちづくりの総合的な支援を行います。地域における問題や課題の把握、それらを解決するための方向性や具体的な方策等について、地域のみなさんとの対話を大切に、共に実践し、ソフトとハード両輪での持続的な地域活性化を希求しています。
- 人口減少社会、低成長経済などの厳しい社会情勢が続く中で、地球温暖化や頻発する自然災害がもたらす影響も甚大であり、私たちの暮らしや生業を取り巻く環境は大きな変革が求められています。私たちが生きる地域社会を持続可能なものとするためには、自らを取り巻く環境が何を望み、何を大切としているかを読み取り、そこから学び行動していく必要があると考えています。

必要に応じて資料をA4判1ページまで添付できます。